

- 01. TERMINAL
 - 02. DOSE
 - 03. WATCH OUT
 - 04. Monster
 - 05. liveDevil
 - 06. FUNKEYS
 - 07. Dance Dance
 - 08. That you know?
 - 09. OLD meets NEW
 - 10. Try&Groove
 - 11. オレンジコース
 - 12. Black and White
 - 13. ララバイの前に
 - 14. you
 - 15. CITRUS
 - 16. せつなくて
- 5 Voice & acoustic ver. -
 - 17. Tasty Beating Sound
 - 18. I wonder
 - 19. ノンフィクションズ
 - 20. Past days
- ENCORE**
- 01. スターメイン
 - 02. Live goes on

LIVE REPORT

3/7 sat. GLION ARENA KOBE

Da-iCE

次なる高みへの“再出発点”で見せた
止まらない進化と変わらぬ本質

今年グループ結成15周年。その幕開けと共に9thアルバム『TERMiNaL』を発表し、併せてツアー開始。2021年『CITRUS』以降のヒット曲などで出会ったファンの“入口”ともなった昨年のツアーを経て、今回は次なる高みへの“再出発点”と位置付け、【Da-iCE ARENA TOUR 2026 -TERMiNaL-】というタイトルにもその意を込めたという。そんな注目のツアー兵庫公演2daysの初日に立ち会った。

会場にはメインステージに浮かぶ管制塔やセンターステージと繋がる花道は滑走路と、空港をイメージした煌びやかなセットが生まれ、入った瞬間その世界観へ引き込まれていく。定刻、スクリーンに工藤大輝、和田颯、岩岡徹のパフォーマー3人、大野雄大、花村想太のボーカル&パフォー



マー2人の順に映し出され、映像の中の5人が飛行機へ乗り込むと同時に管制塔が開き、メンバーが登場。

生バンドによる挑発的なビートが旅へ連れ出すように鼓舞する『TERMINAL』でライブがスタートし、次々畳み掛けるキラチューンに会場のボルテージは上昇するばかり。最新技術を駆使した演出と独創的なフォーメーションが連動するパフォーマンスにも目を奪われる。圧倒的なツイン・ボーカルを擁しながら全員が高度な踊りで魅了できるのは日本ダンス&ボーカルグループ数あれど稀有だろう。

次のゾーンでは先のクールさから一転、パイロットから清掃員の衣装に着替えた5人がミュージカル風に魅せた『FUNKEYS』をはじめ、カラフルでポップなショーにオーディエンスも胸を高鳴らせた。さらに工藤、岩岡、大野による『That you know?』を夕暮れの景色の中、3人で披露すると、今度は花村と和田が2人で手掛けた『OLD meets NEW』をニューレトロ感たっぷりにパフォーマンス。これまでにないタグで新たな可能性を示してみせた。

5階席のある会場の造りに驚きつつ「みんなに届くようにがんばるよ」と語りかけるリーダー工藤、コーナー進行

を忘れてハケようとする大野の天然ぶりに鋭く突っ込む花村と心配げな岩岡、それをニコニコと眺める和田と、ライブ中と違う表情に歓声と笑いが溢れたMCを挟んで、パフォーマー3人によるトリッキーな『Try&Groove』、花村の純粋なハイトーンボイスと大野の情緒的なアーシーボイスが共鳴する『Black and White』など新作からのナンバーを連打。そこに進化を感じつつ、スクリーンに映し出した詞世界を丁寧に歌い紡ぎ体現した『you』、アコギの音色と感情的な歌声が胸に迫る『CITRUS』から「神戸での初ライブはVARIT.というところで、300人ぐらいのキャパも完売できない状況でした。その頃から歌っている曲です」(花村)と『せつなくて』を5人で歌った場面では、取り巻く環境が変わっても変わらないDa-iCEの本質を見た気がした。

『Tasty Beating Sound』が投下され、手拍子と狂騒のコール&レスポンスで観客が沸き立つと、ヒット曲『I wonder』から『ノンフィクションズ』ではタオル回してフロアの熱気は最高潮に。最後は「僕たちの15年を振り返って」(花村)と『Past days』を届けた。

アンコールは代表曲のひとつ『スターメイン』で応え、超絶ボーカルに思わず息を飲む。オーラスは『Live goes on』を放ち、舞い降りた銀テープには直筆による感謝の言葉が書かれ、取れなかった人に配って回るスタッフの姿からも5人の想いが伝わった。「また会いましょう。今度もっと大きな場所で」と約束をし、メンバーが去った舞台のスクリーンに映し出されたのはTo be continuedの文字だった。



2027年2月13日(土) start17:00 京セラドーム大阪
2月14日(日) start15:00 京セラドーム大阪